



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 経営企画本部長 (氏名) 横山 欣二 TEL 06-6204-1193
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,573	△2.5	215	△27.0	186	△32.9	92	△47.6
2020年9月期第1四半期	2,638	4.6	295	8.0	278	7.3	177	5.5

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 102百万円 (△46.3%) 2020年9月期第1四半期 191百万円 (204.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	8.63	8.61
2020年9月期第1四半期	17.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	9,715	5,486	56.4
2020年9月期	10,312	5,610	54.4

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 5,482百万円 2020年9月期 5,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.4	1,570	32.6	1,500	36.9	1,000	42.8	92.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	11,058,000株	2020年9月期	11,037,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	292,939株	2020年9月期	300,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	10,751,427株	2020年9月期1Q	10,333,072株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「従業員持株会支援信託ESOP」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式及び「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響から、一部で持ち直しの動きがみられるものの、景気の動向は不透明な状況が続いております。

保険業界においては、ITや医療技術の進歩を背景として、引き続き保険商品の多様化と高度化が進むと同時に、真にお客様の役に立つ情報の提供並びにコンサルティングの実施等、お客様本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)の実現が求められております。

このような状況下、当社グループは「人とテクノロジーを深化させ進化する会社」を標榜し、あらゆる保険ニーズに対応できる「保険業界のプラットフォーム」と、OMO(Online Merges with Offline.=オンラインとオフラインの融合)時代に相応しいエコシステム(ビジネス生態系)を構築すべく、日々新たな挑戦を行っております。

具体的には、自社開発のビデオ通話システム「Dynamic OMO」により、対面と非対面の垣根をなくし、オフラインと同等のオンライン保険相談を実現してまいります。「Dynamic OMO」は、業界トップクラスのオンライン保険相談件数を誇る当社が、その知見を結集して独自に開発した、保険相談に特化したビデオ通話システムです。2020年10月に直営コンサルティングプラザで運用を開始して以降、その利便性の高さで、多くのお客様からご満足のお声をいただいております。さらに、今年3月には保険会社及び保険代理店向けの外部販売を開始する予定です。

また、保険業界の共通プラットフォームシステム「Advance Create Cloud Platform」(以下「ACP」)の開発を引き続き進めてまいります。ACPは保険会社と乗合保険代理店、お客様の情報を相互に連携し、保険商品の検討からお申し込み、保全手続きまでを一括して管理・運用できるシステムです。ACPの普及により、ペーパーレス化と事務負担の大幅な軽減が期待できます。ACPの主要機能である顧客管理システム「御用聞き」、申込共通プラットフォームシステム「丁稚(DECHI)」、保険証券管理アプリ「folder」は、いずれも導入したお客様からご好評をいただいております。さらに機能拡充を進めております。これらのシステムを保険代理店に提供することで、サブスクリプションモデルとしてのストック収入の確保、及び協業事業の拡大を目指します。

さらに、当社はSNS、SMS等のテキストコミュニケーションツールの活用により、お客様とのよりスムーズなコンタクトを実現しております。このようなノウハウを、他の保険会社や保険代理店の顧客に対する保全業務を請け負うBPO事業にも活用し、業容の拡大、及び保険業界の課題であるCRMの継続・改善にも取り組んでいきたいと考えております。

これらの施策を拡充するとともに、ガバナンス体制およびコンプライアンス体制の一層の充実や、情報セキュリティ体制の強化を継続し、保険業法や個人情報保護法等の関係法令に適応した保険募集管理体制の強化に全社的に取り組み、管理体制面において積極的に経営資源を投下してまいります。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,573百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は215百万円(前年同期比27.0%減)、経常利益は186百万円(前年同期比32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円(前年同期比47.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、これまで「メディア事業」に含まれていた「メディアレップ事業」の重要性が高まったことから、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。

これにより、前連結会計年度より、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「メディアレップ事業」、「再保険事業」の5つを報告セグメントとして開示しております。

(保険代理店事業)

直営コンサルティングプラザでの販売実績は前年同期を上回りましたが、一部の品質手数料について収益計上の時期がずれたこと、及びIT関連コストの増加により、減収減益となりました。

この結果、保険代理店事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,158百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は107百万円(前年同期比41.6%減)となりました。

(ASP事業)

乗合保険代理店へのACPの新規販売が伸び悩んだことにより、減収減益となりました。

この結果、ASP事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は46百万円(前年同期比15.3%減)、営業利益は11百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

(メディア事業)

保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」への広告出稿が前年同期に比べて低調に推移し、減収減益となりました。

この結果、メディア事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は274百万円(前年同期比23.9%減)、営業利益は57百万円(前年同期比21.3%減)となりました。

(メディアレップ事業)

保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」の運営を通じて蓄積したWEBマーケティングのノウハウをベースに、保険専門の広告代理店として様々なサービスの提供に努めた結果、増収増益となりました。

この結果、メディアレップ事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は188百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は2百万円(前年同期比171.4%増)となりました。

(再保険事業)

売上高が引き続き順調に推移し増収増益となりました。

この結果、再保険事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は226百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は35百万円(前年同期比56.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産合計)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ596百万円減少し9,715百万円(前連結会計年度末は10,312百万円)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ587百万円減少しましたが、これは主に、現金及び預金の減少678百万円、受取手形及び売掛金の増加54百万円および未収入金の減少91百万円等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しましたが、これは主に、投資その他の資産の減少12百万円等によるものです。

(負債合計)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ473百万円減少し4,229百万円(前連結会計年度末は4,702百万円)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ364百万円減少しましたが、これは主に、未払金の減少95百万円、賞与引当金の減少91百万円および未払法人税等の減少66百万円等によるものです。

(純資産合計)

純資産は前連結会計年度末に比べ123百万円減少しましたが、これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円を計上した一方で、剰余金の配当による減少275百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月11日付の「2020年9月期決算短信」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,632,288	1,953,998
受取手形及び売掛金	1,099,522	1,153,959
未収入金	2,120,899	2,028,978
未収還付法人税等	15,225	15,225
その他	695,462	823,504
流動資産合計	6,563,398	5,975,665
固定資産		
有形固定資産	617,172	598,157
無形固定資産		
ソフトウェア	518,631	601,294
その他	167,744	109,011
無形固定資産合計	686,376	710,305
投資その他の資産		
投資有価証券	351,506	366,899
差入保証金	678,655	691,057
保険積立金	716,258	716,258
繰延税金資産	271,683	233,118
その他	403,056	401,333
投資その他の資産合計	2,421,161	2,408,666
固定資産合計	3,724,710	3,717,130
繰延資産	24,688	23,003
資産合計	10,312,797	9,715,799
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	106,616	40,416
未払金	1,087,762	992,345
預り金	410,212	433,090
リース債務	80,116	78,358
賞与引当金	183,305	92,159
資産除去債務	6,777	20,758
その他	623,855	476,671
流動負債合計	2,698,647	2,333,798
固定負債		
長期借入金	127,630	127,630
社債	800,000	700,000
リース債務	369,609	355,265
退職給付に係る負債	356,206	365,004
資産除去債務	214,016	205,125
その他	136,594	142,855
固定負債合計	2,004,057	1,895,879
負債合計	4,702,704	4,229,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,954,496	2,973,184
資本剰余金	381,117	399,805
利益剰余金	2,586,305	2,401,903
自己株式	△443,976	△430,634
株主資本合計	5,477,943	5,344,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,534	138,552
その他の包括利益累計額合計	128,534	138,552
新株予約権	3,615	3,309
純資産合計	5,610,092	5,486,120
負債純資産合計	10,312,797	9,715,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,638,828	2,573,540
売上原価	781,430	736,908
売上総利益	1,857,398	1,836,632
販売費及び一般管理費	1,562,293	1,621,218
営業利益	295,104	215,413
営業外収益		
受取利息及び配当金	826	778
未払配当金除斥益	498	414
受取保証料	2,045	2,045
その他	696	402
営業外収益合計	4,066	3,641
営業外費用		
支払利息	3,015	2,189
支払保証料	—	375
支払手数料	17,855	27,952
その他	—	1,844
営業外費用合計	20,870	32,362
経常利益	278,299	186,692
特別利益		
新株予約権戻入益	400	—
特別利益合計	400	—
特別損失		
固定資産除却損	—	3,224
店舗閉鎖損失	—	19,459
特別損失合計	—	22,684
税金等調整前四半期純利益	278,699	164,008
法人税、住民税及び事業税	63,776	34,345
法人税等調整額	37,831	36,780
法人税等合計	101,607	71,126
四半期純利益	177,091	92,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,091	92,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	177,091	92,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,584	10,018
その他の包括利益合計	14,584	10,018
四半期包括利益	191,676	102,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,676	102,899
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店 事業	ASP事業	メディア 事業	メディア レップ 事業	再保険事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,912,943	55,293	360,754	106,851	202,985	2,638,828	—	2,638,828
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	267,482	—	—	78,922	—	346,405	△346,405	—
計	2,180,426	55,293	360,754	185,773	202,985	2,985,233	△346,405	2,638,828
セグメント利益	184,421	13,502	72,714	1,073	22,791	294,504	600	295,104

(注) 1. セグメント利益の調整額600千円にはセグメント間取引消去600千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店 事業	ASP事業	メディア 事業	メディア レップ 事業	再保険事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,954,213	46,806	274,667	71,298	226,553	2,573,540	—	2,573,540
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	204,267	—	—	116,961	—	321,229	△321,229	—
計	2,158,481	46,806	274,667	188,260	226,553	2,894,769	△321,229	2,573,540
セグメント利益	107,700	11,313	57,194	2,914	35,691	214,813	600	215,413

(注) 1. セグメント利益の調整額600千円にはセグメント間取引消去600千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、これまで「メディア事業」に含まれていた「メディアレップ事業」の重要性が高まったことから、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。

これにより、前連結会計年度より、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「メディアレップ事業」、「再保険事業」の5つを報告セグメントとして開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。